

(Fl)信澤達也(のぶさわたつや)

東京大学音楽部管弦楽団で活躍し、その間フルートを磯部庄平氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、管楽合奏は楽しい会?ほかに所属。鉄鋼系化学メーカーの研究所でコールタールを扱う日々。最近、年俸の半分くらいの楽器を買ってしまった(但し、中古)今日も勿論、それで演奏。

(Cl)兼氏規雄(かねうじのりお)

東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音大に留学する。帰国後水戸で東京でリサイタルを行い、水戸の演奏会はTV放送された。NHKFM、水戸芸術館主催事業などへも出演。元・水戸短大講師。現在は大東文化大学及び茨城大学非常勤講師を務めながら、室内楽活動を主に行っている。オペラシティで催したリサイタルは音楽の友誌上で激賞された。水戸ソリスト主宰。フルスヴァルト合奏団同人

(Fg)阿部憲一(あべけんいち)

京都大学交響楽団で活躍する。ファゴットを日名弘見氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、アンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動中。令夫人はプロのヴァイオリン奏者、二人の令息はヴァイオリンとチェロを弾き、令嬢は藝大で声楽家を目指すと言う音楽一家の大黒柱。欧米、アジア各地へ海外出張の多い国際派ビジネスマンでもあり、この春よりアメリカに赴任。彼の地でも演奏される事だろう。

(Vc)Stuart Strauss (すちゅあーと すとらうす)

プリンガムヤング大、アリゾナ州立大でチェロ演奏奨学生として学ぶ。また、その間松本の才能教育学園で研鑽を積み教師資格を得る。S.マッキントッシュ、有馬周志氏ほか多数に師事。帰国後、チェロの個人指導、夏期講習での講師などを務めるほか、多くのオーケストラ、室内楽、ソロ活動を行う。現在は日本に住み、英語講師とチェロ講師を務めている。

「代々木の森ファゴットアンサンブル」とメンバーのプロフィール

最後期のジュネスに出演していたメンバー(安藤、山田、吉倉)と、その仲間たちで結成。名称の「代々木の森」はジュネスで練習に使っていたNHK放送センターの所在地に由来する。実はこの2月に集まったばかりで、今回が御披露目。これが最初で最後とならない様に努めるので、今後の活動にもぜひご期待戴きたい。

安藤正彦(あんどうまさひこ)

学習院輔仁会音楽部でファゴットを始め、卒業後は文京区民オーケストラ、NTTフィルハーモニー管弦楽団に所属。現在仕事のかたわらNTTフィル運営委員長として東奔西走の日々を過ごす。

太田絵梨(おおたえり)

高校よりオーケストラでファゴットを始める。学習院輔仁会音楽部を経て、現在は仕事とお酒のかたわら、主にNTTフィルハーモニーにてエキストラとして活動中。「卒業後もこうして音楽に関われることを幸せに思います。今日もみなさまに感謝しつつ、いい演奏ができればと思います。」

福田紀子(ふくだのりこ)

高校からファゴットを始め、青山学院大学管弦楽団にて学生時代を満喫し、現在は文京区民オーケストラとザッツ管弦楽団に所属。「なかなか練習時間がとれず退化しておりますが、楽しんで演奏したいと思います♪」

山田祐理(やまだゆうり/法政ファゴット会同人)

吉倉弘高(よしくらひろたか)

横浜市立金沢高校入学と同時に加藤洋男(横浜ノネット、元山形交響楽団ファゴット奏者)に師事してファゴットを始める。高校時代は吹奏楽部に所属。横浜国立大学管弦楽団、三鷹市管弦楽団を経て現在はダンゲダーク管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニー等に所属。会社の椅子を温めながらファゴットの研鑽を積む毎日を送っている。

本日はお運び下さり有り難うございます。法政ファゴット会の演奏会も8回目を迎える事になりました。同じ大学オケにいた仲間と旧交を温めるもよし、先輩後輩の交流を図るもよし、アンサンブルを楽しむのもよしと始めました。

またファゴットのみならず楽器を通して知り合い、こうした活動に賛同し集まってくれる法響以外の人達も大事な仲間であり、お互いに音楽を追究し共有する事、そこから生み出される楽しさの追求は人生をこの上なく豊かにしてくれるでしょう。この演奏会がそうした場所になれば望外の仕上げと考えて来ました。

今回は郡山の東北楓興業と代々木の森ファゴットアンサンブルを迎えて、少し理想の実現に近付いたかと喜んでいきます。最終的に法政ファゴット会の冠が取れて音楽とファゴットを愛する人達の会になれば、目的は果たされるでしょう。この活動を後輩や友人達が引き継いでくれる様に蒔いた種を育てて行きたいと思うこの頃です。